

講義名	海外マーケティング研修			授業形態	
担当教員	清水 信年 / 秦 洋二 / 白 貞王		開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	
	単位数	4	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード

主題と概要

日米のスーパーマーケットやサービス業の店舗比較を行い、マーケティングの実際について理解を深めます。流通先進国である米国の最新事情に触れることを通じて、受講生の多くが将来のキャリアとして選択するであろう小売業におけるマネジメントやマーケティング活動への関心が高まります。

当科目は、前期・月曜2時限の講義と、夏休み期間（9月前半、現地4泊6日を予定）における米国での視察研修の、2部構成です（4単位数）。前期期間において、リテールマネジメントやマーケティングの基礎、米國小売業事情についての講義、店舗観察の実習を行います。そこで学んだことをふまえて、夏休み期間に米国の複数のスーパーマーケットやサービス業の店舗を視察し、日米の店舗比較分析を行います。

到達目標

- * 店舗観察の手法について、実習を通じて身につけます。
- * 流通先進国である米国のスーパーマーケットやサービス業について、自らの体験を通じて理解を深めます。
- * ふたたび利用している（日本の）スーパーマーケットやサービス業についての認識を、米国との比較を通じて相対化させることによって、新たなビジネス展開についての発想を広げます。

提出課題

- * 前期期間の講義において、数回のレポート提出を課します。
- * 米國視察研修における実習に関しても、レポート課題を設定します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- * 講義中に適宜、解説をします。

評価の基準

- * 前期期間の講義における数回のレポート：50%
- * 米國視察研修における実習：50%
- * 期末試験は実施しません。

履修にあたっての注意・助言他

- * 前期期間の講義の受講のみ、あるいは、夏休み期間の視察研修への参加のみ、での単位修得はできません。
- * 米國視察研修の参加には、渡航費・滞在費などを合わせて35万円前後の費用を要します。
- * 上記のことを含め、初回講義時にガイダンスを行なうので必ず出席してください。

教科書	. 1からのリテールマネジメント.	清水信年・坂田隆文編著	碩学舎	2640	9784502697
-----	-------------------	-------------	-----	------	------------

参考図書

その他

適宜、指示・配布します。

授業計画

1. 当日の狙いと受講ポイント
2. リテールマネジメントの基礎
3. リテールマネジメントの基礎
4. リテールマネジメントの基礎
5. リテールマネジメントの基礎
6. 米國小売業の現状
7. 米國小売業の現状
8. 購入者の購買行動
9. 実習：購買行動観察の基礎
10. 実習：購買行動観察の基礎
11. 実習：購買行動観察の基礎
12. 小売店舗の売り場観察
13. 実習：売り場観察の基礎
14. 実習：売り場観察の基礎
15. 講義まとめ/視察研修に向けて

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前期期間における15回の講義内容はすべて、夏休みの視察旅行において、現地で受講生の皆さんに実施していただく実習につながるものです。各自において、当日の講義内容の復習をしっかりと行ない、視察旅行にかけられる時間と費用が無駄にならないよう努めてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

【ブランド戦略コース】
日米でのマーケティング活動の比較を行う現地実習を通じて、教科書や講義を通じて学ぶ理論や専門用語に対する理解を深めるとともに、将来マーケティングとして仕事をすると際に糧となるような貴重な実体験を得ることが出来る。

【流通ビジネスコース】
日米での小売業・サービス業の店舗比較を行う現地実習を通じて、教科書や講義を通じて学ぶ理論や専門用語に対する理解を深めるとともに、社会における流通の役割と将来のべき姿について実体験をもとに考えることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
